

「外部脅威対策」に関するアンケート

調査結果レポート

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

調査概要

- 調査目的：企業の情報システム担当者やビジネスマンを対象に、ランサムウェアなどの外部脅威対策の導入状況やその内容を調査する
- 調査対象：従業員100名～4,999名の企業に勤務するアイティメディアID会員
- 調査期間：2023/04/28 ～ 2023/06/08
- 調査手段：Webメディア掲載およびメール配信によるオンラインアンケート
- 調査主体：キヤノンマーケティングジャパン株式会社／アイティメディア株式会社
- 有効回答数：131件

調査結果サマリー

- **勤務先のメール環境実態**
 - 企業のメール環境では、Microsoft 365の利用率が60%と、最も多い結果となりました
 - Google Workplaceと合わせると73%となり、SaaS型サービスの導入率が非常に高いことがうかがえます
- **セキュリティ課題について**
 - 実に67%が外部脅威対策を課題と捉えていると回答しており、関心の高さがうかがえます
 - 次に多いのが情報漏えいや誤送信などの内部脅威対策で、約半数の47%が課題と回答していました
 - 近年話題のPPAP対策も27%が課題と回答していました
- **外部脅威対策の導入状況**
 - 勤務先で外部脅威対策を「導入済み」と回答したのは、全体の31%でした
 - 今後導入を予定または検討しているのは25%、そのうち1年以内に導入を予定しているのは7%でした
- **外部脅威対策を導入・検討する理由**
 - 外部脅威対策の導入理由として最も多かったのは「セキュリティ対策が業務に直結するから」でした
 - 実際に被害に遭い、対策が必要と回答した方は9%でした
 - 「情報システム部門の意向」が24%、「経営者の意向」が21%の回答があるのに対し、「取引先の意向」と回答したのは14%となりました

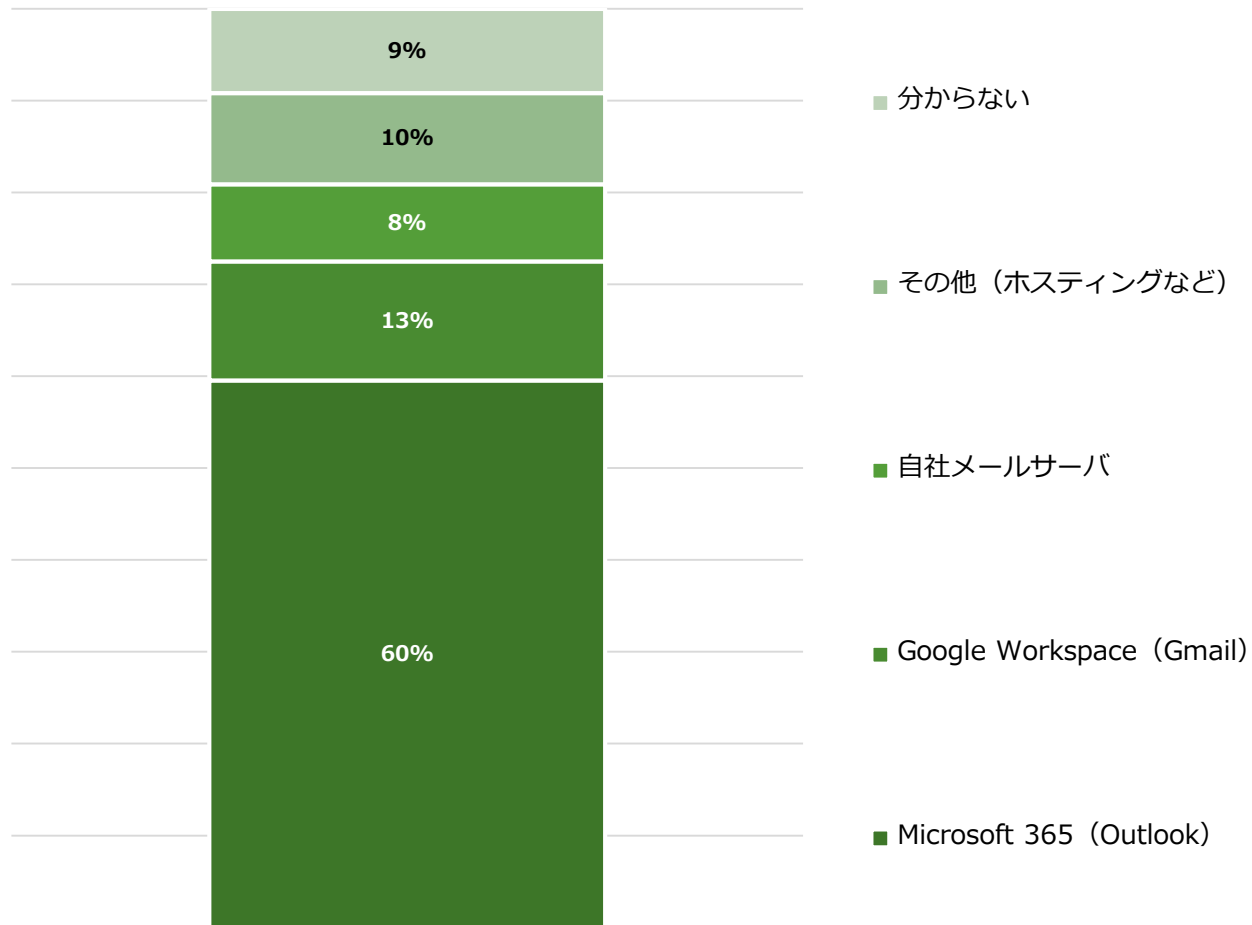
調査結果サマリー

- **導入もしくは導入検討している外部脅威対策の内容**
 - 半数以上が「エンドポイントセキュリティの導入・強化」を検討していました
 - 次点で、「ソフトウェア製品のアップデート・パッチ適用」が44%、セキュリティ教育の実施が43%となりました
 - 上位2~5項目まではあまり回答数に差がなく、いずれの対策内容も関心が高いことがうかがえます
- **外部脅威対策で導入検討しているメーカー/ブランド**
 - 最も導入検討率の高い外部脅威対策メーカーは日本マイクロソフトで25%でした
 - 次点で、21%の回答があったのはトレンドマイクロでした
- **外部脅威対策の導入予定がない理由**
 - 外部脅威対策の導入予定がない理由として最も回答が多かったのが、「人的リソースが足りない」で24%でした
 - 上位である「投資対効果が分からない」、「対策製品・サービスのコストが高い」は回答数にほとんど差がなく、人的リソースと共に導入に対する主な障壁となっているようでした
- **導入しているメールセキュリティ対策の内容**
 - 50%が「アンチウィルス・アンチスパム対策を実施している」と回答しました
 - その他のメールセキュリティ対策についてはあまり導入が進んでいないようです
- **メールセキュリティ対策の導入効果**
 - メールセキュリティ対策の導入効果について、被害が減った、もしくはなくなったと回答したのは22%でした
 - 対策後も変化はないと回答したのは23%でした

アンケート回答

勤務先のメール環境実態

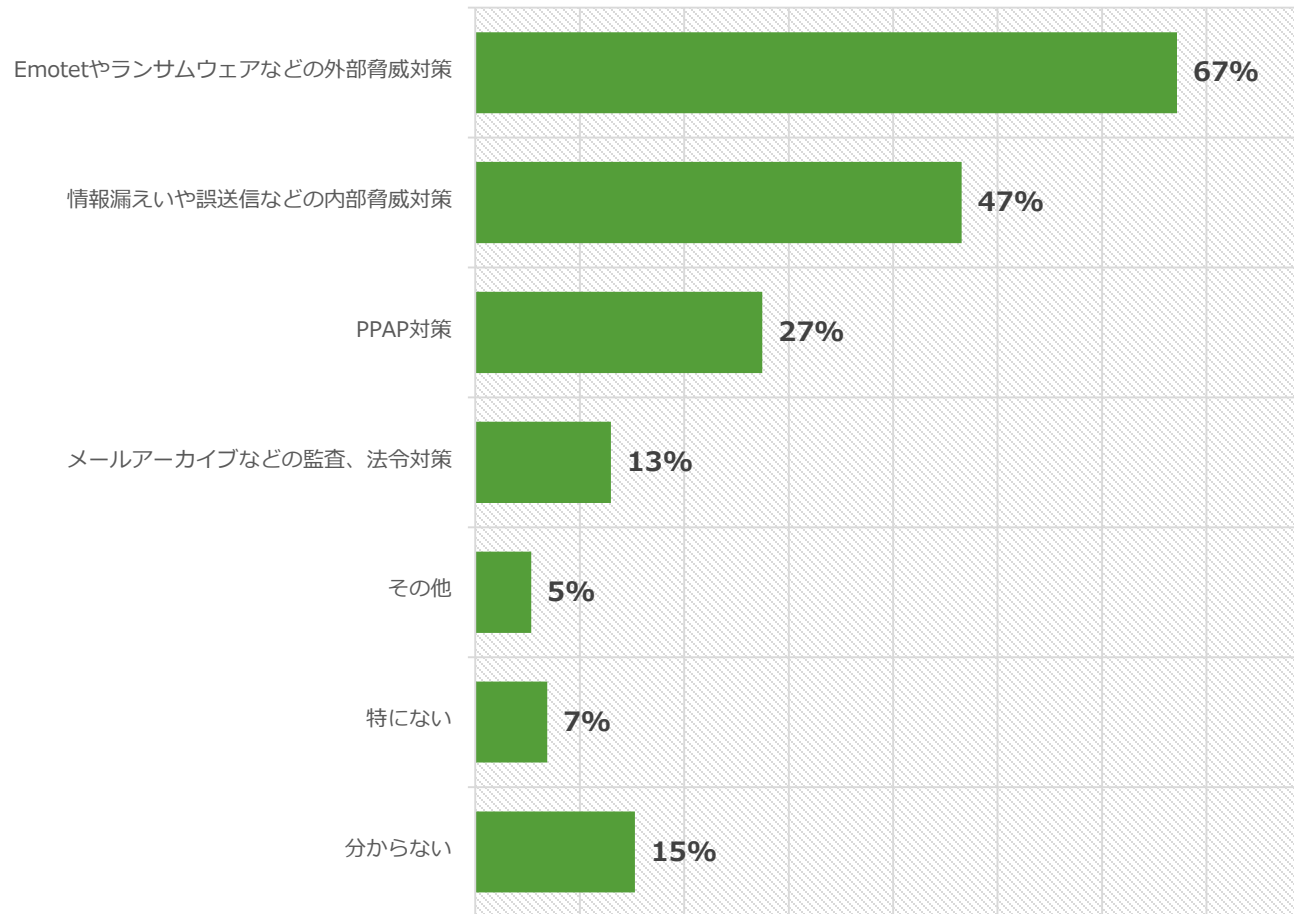
Q2：勤務先で主に利用しているメール環境を1つ選択してください。複数のメール環境を利用している場合は、最も利用率が高いものを選択してください。



- 企業のメール環境では、Microsoft 365の利用率が60%と、最も多い結果となりました
- Google Workspaceと合わせると73%となり、SaaS型サービスの導入率が非常に高いことがうかがえます

セキュリティ課題について

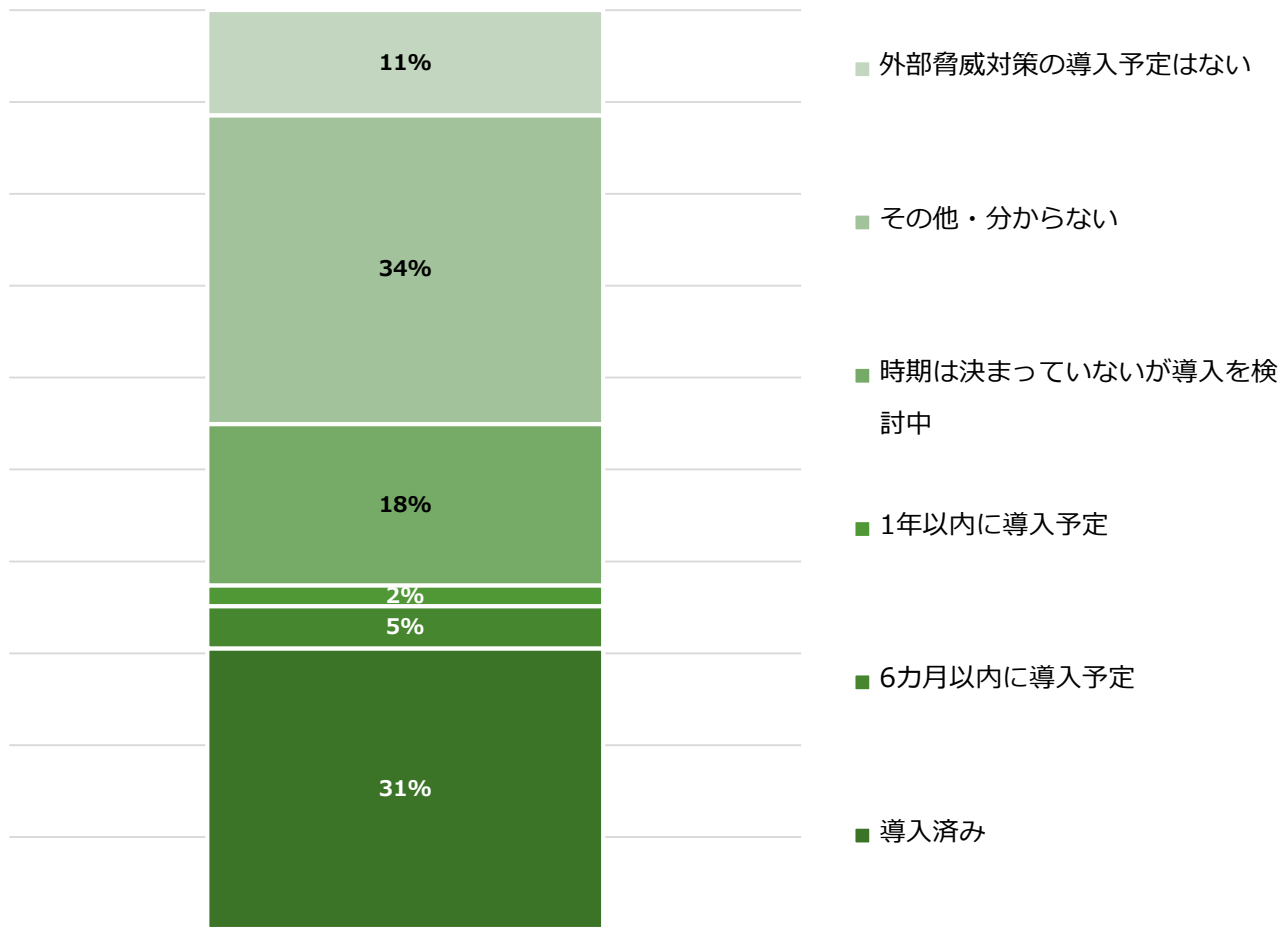
Q3：現在勤務先で関心があり、課題と捉えているセキュリティ対策をいくつでも選択してください。



- 実に67%が外部脅威対策を課題と捉えていると回答しており、関心の高さがうかがえます
- 次に多いのが情報漏えいや誤送信などの内部脅威対策で、約半数の47%が課題と回答していました
- 近年話題のPPAP対策も27%が課題と回答していました

外部脅威対策の導入状況

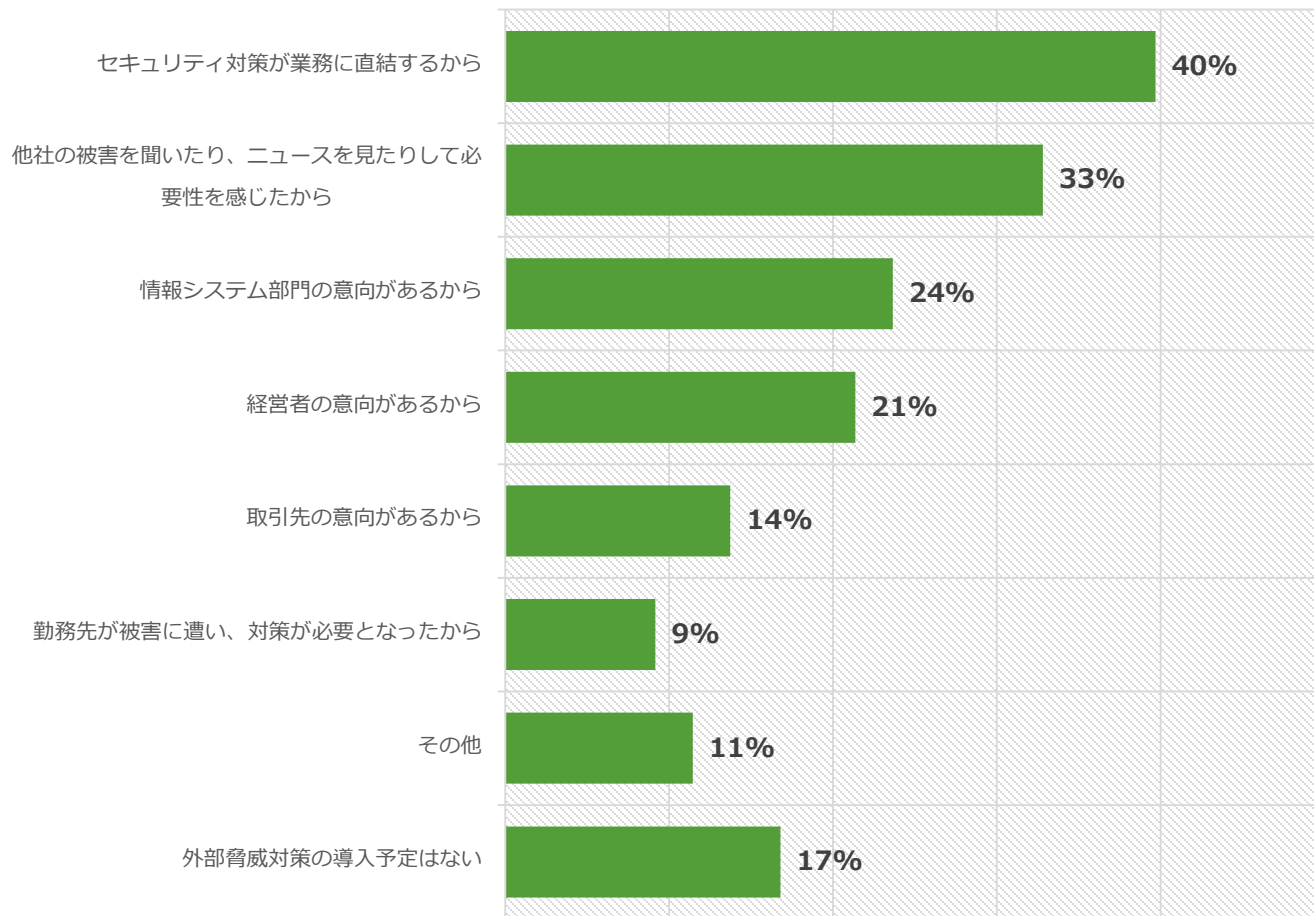
Q4：勤務先における外部脅威対策の導入状況（新規導入・追加・乗り換えを含む）を1つ選択してください。



- 勤務先で外部脅威対策を「導入済み」と回答したのは、全体の31%でした
- 今後導入を予定または検討しているのは25%、そのうち1年以内に導入を予定しているのは7%でした

外部脅威対策を導入・検討する理由

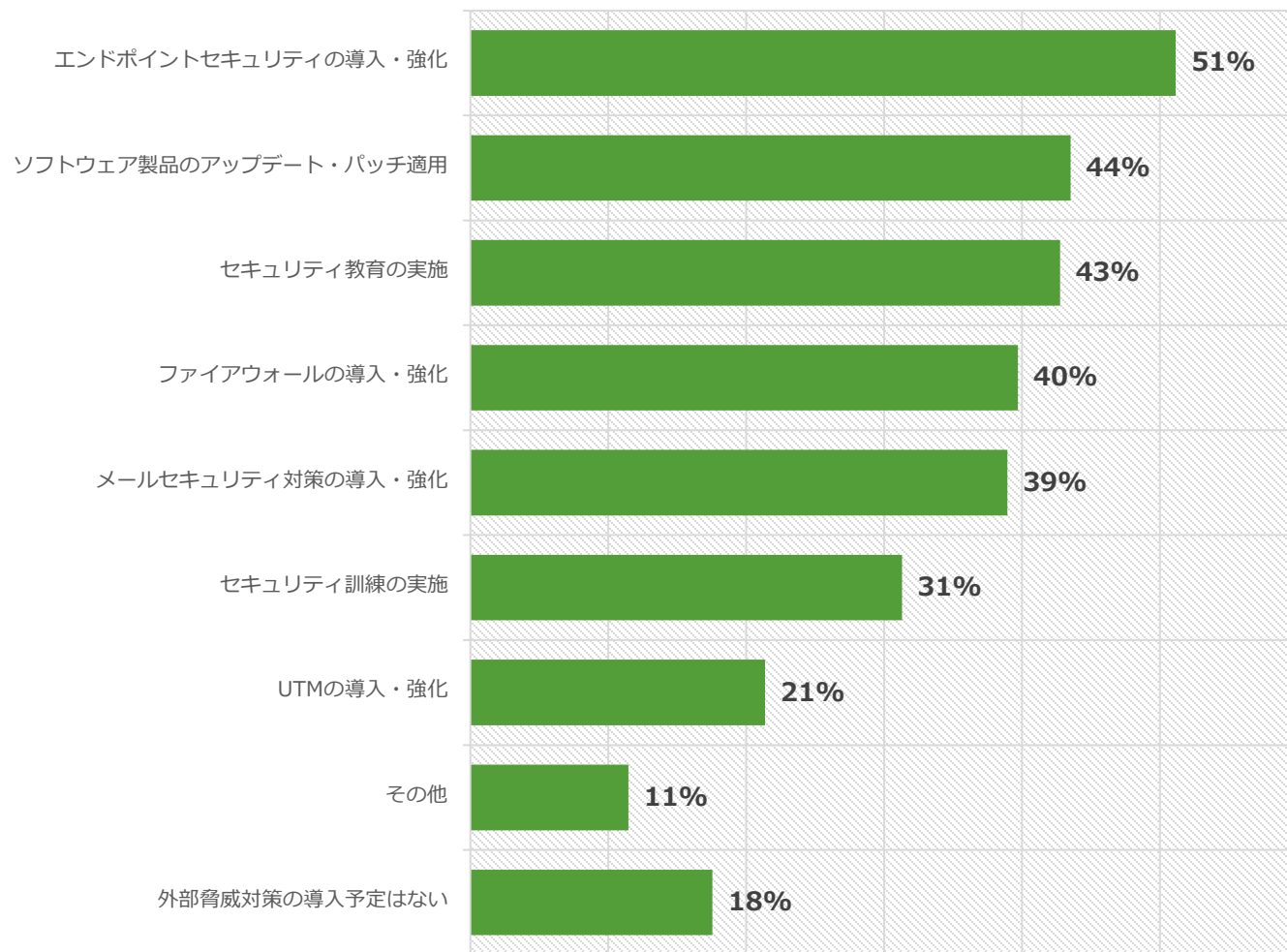
Q5：勤務先で外部脅威対策を導入・検討する理由をいくつでも選択してください。



- 外部脅威対策の導入理由として最も多かったのは「セキュリティ対策が業務に直結するから」でした
- 実際に被害に遭い、対策が必要と回答した方は9%でした
- 「情報システム部門の意向」が24%、「経営者の意向」が21%の回答があるのに対し、「取引先の意向」と回答したのは14%となりました

導入もしくは導入検討している外部脅威対策の内容

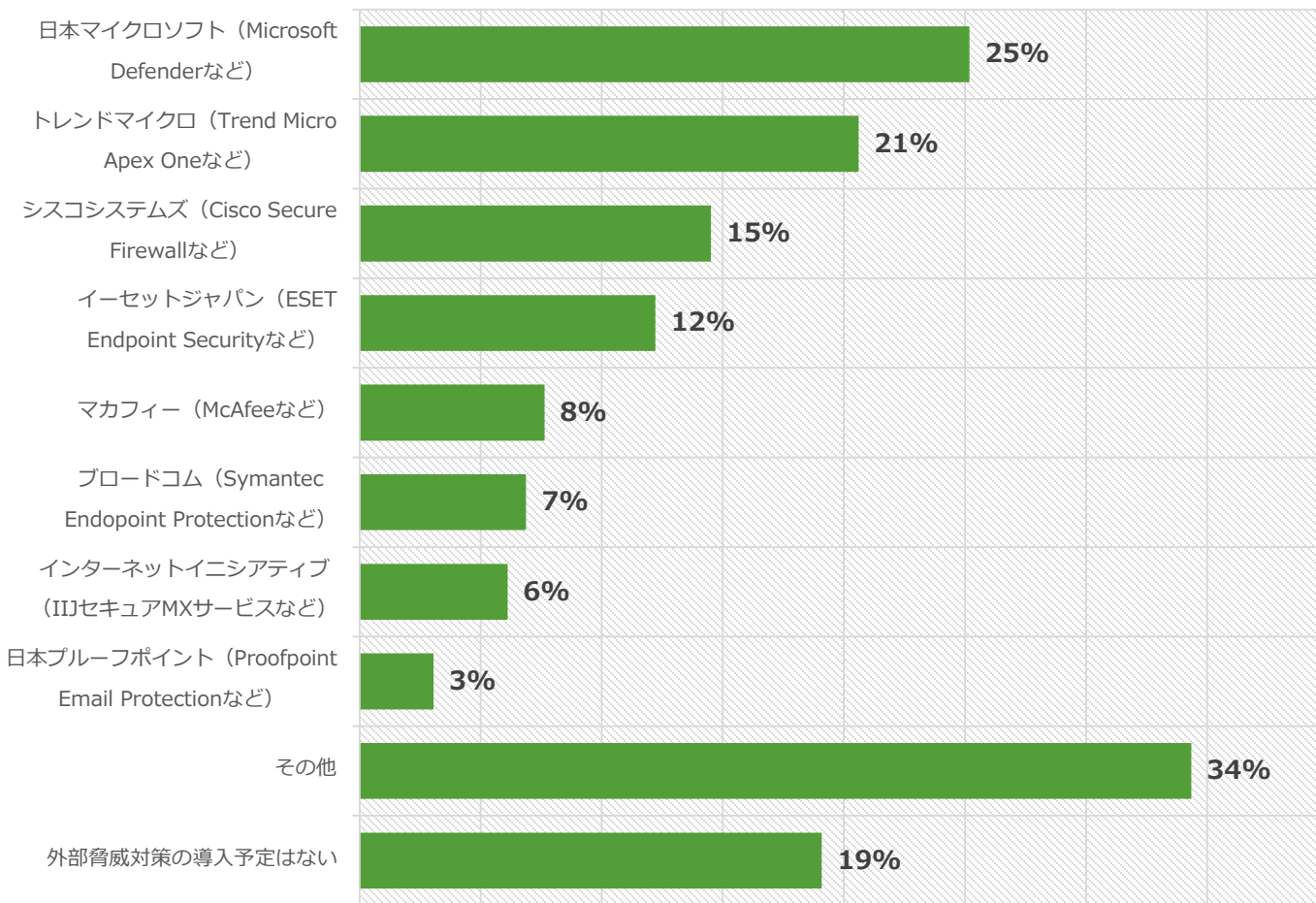
Q6：勤務先で導入・検討している外部脅威対策の内容をいくつでも選択してください。



- 半数以上が「エンドポイントセキュリティの導入・強化」を検討していました
- 次点で、「ソフトウェア製品のアップデート・パッチ適用」が44%、セキュリティ教育の実施が43%となりました
- 上位2～5項目まではあまり回答数に差がなく、いずれの対策内容も関心が高いことがうかがえます

外部脅威対策で導入検討しているメーカー／ブランド

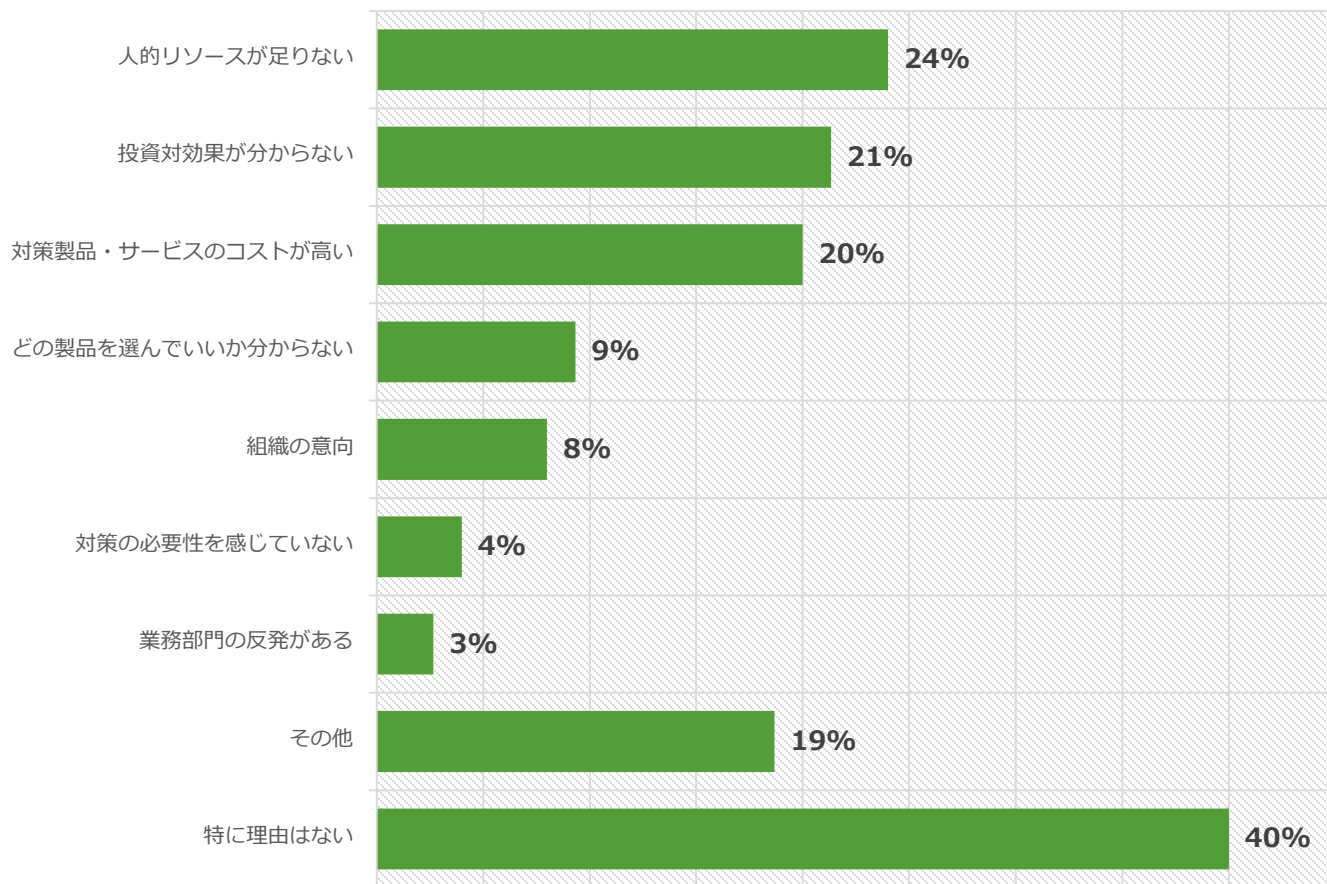
Q7：勤務先で導入・検討している外部脅威対策製品がある方への質問です。
その提供元メーカー／ブランドをいくつでも選択してください。



- 最も導入検討率の高い外部脅威対策メーカーは日本マイクロソフトで、25%でした
- 次点で、21%の回答があったのはトレンドマイクロでした

外部脅威対策の導入予定がない理由

Q8：勤務先で外部脅威対策の導入予定がない場合は、その理由をいくつでも選択してください。

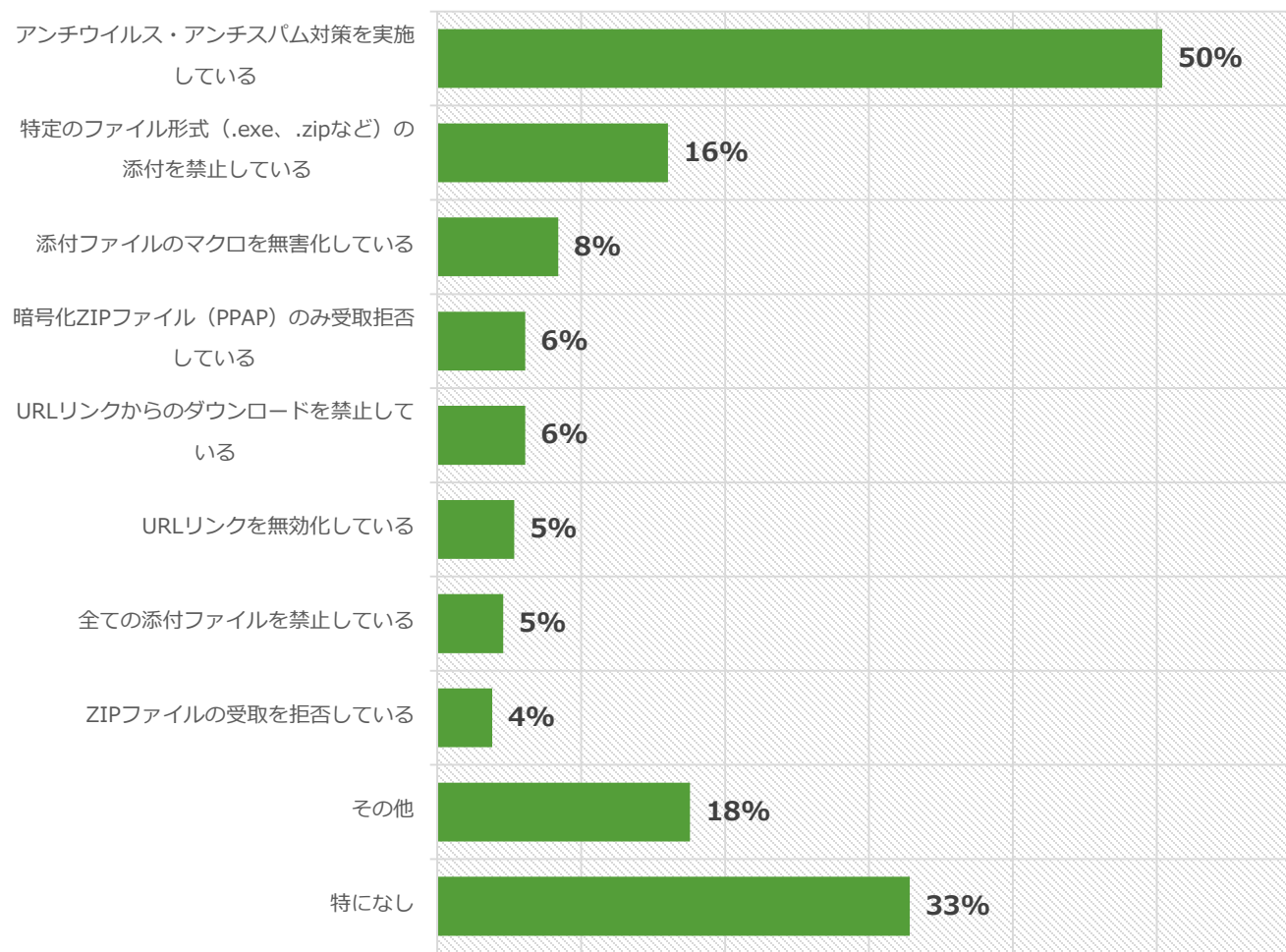


任意回答 有効回答件数：75件

- 外部脅威対策の導入予定がない理由として最も回答が多かったのが、「人的リソースが足りない」で24%でした
- 上位である「投資対効果が分からない」、「対策製品・サービスのコストが高い」は回答数にほとんど差がなく、人的リソースと共に導入に対する主な障壁となっているようでした

導入しているメールセキュリティ対策の内容

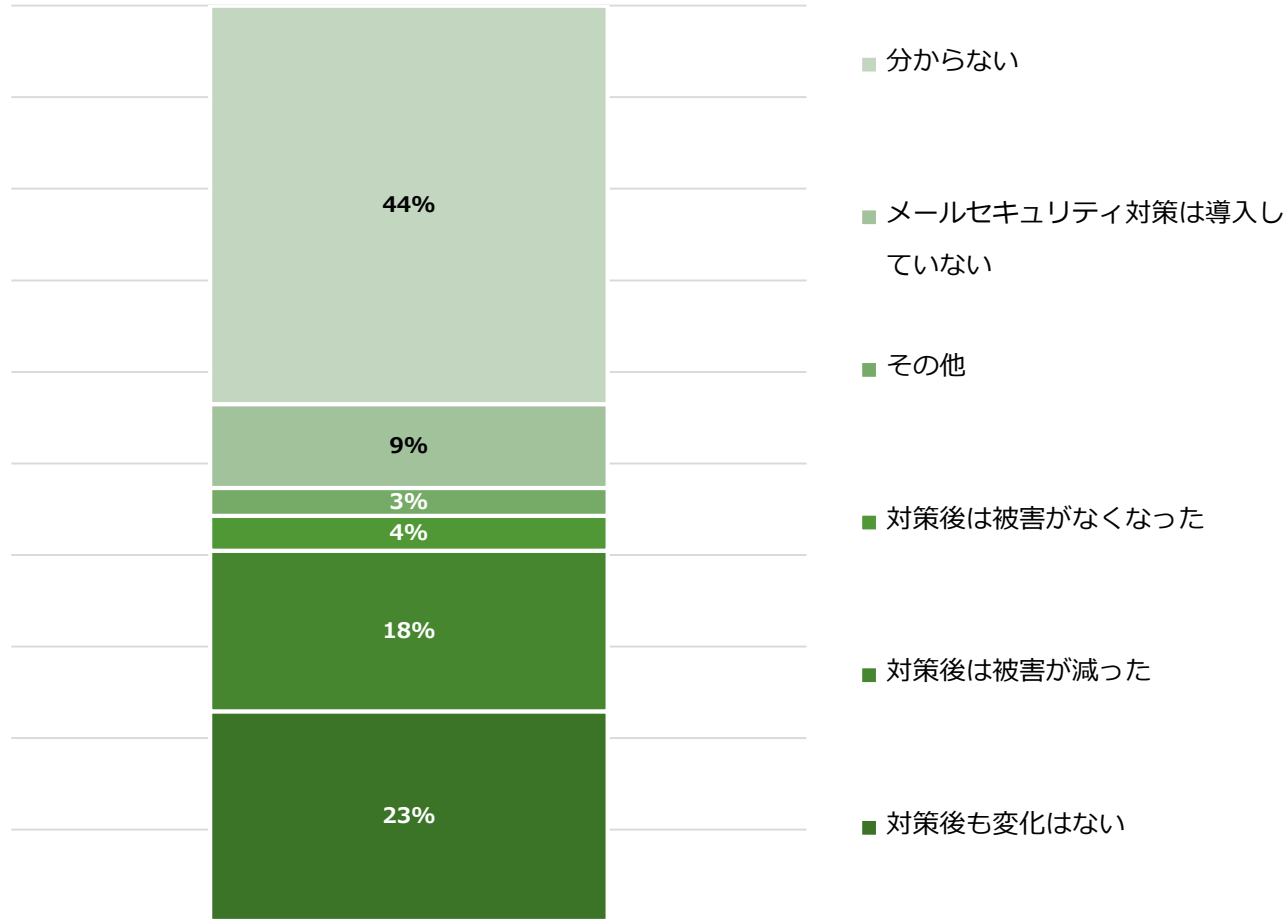
Q9：勤務先で導入しているメールセキュリティ対策の内容をいくつでも選択してください。



- 50%が「アンチウイルス・アンチスパム対策を実施している」と回答しました
- その他のメールセキュリティ対策についてはあまり導入が進んでいないようです

メールセキュリティ対策の導入効果

Q10：前の質問で回答したメールセキュリティ対策の導入効果に当てはまるものを1つ選択してください。

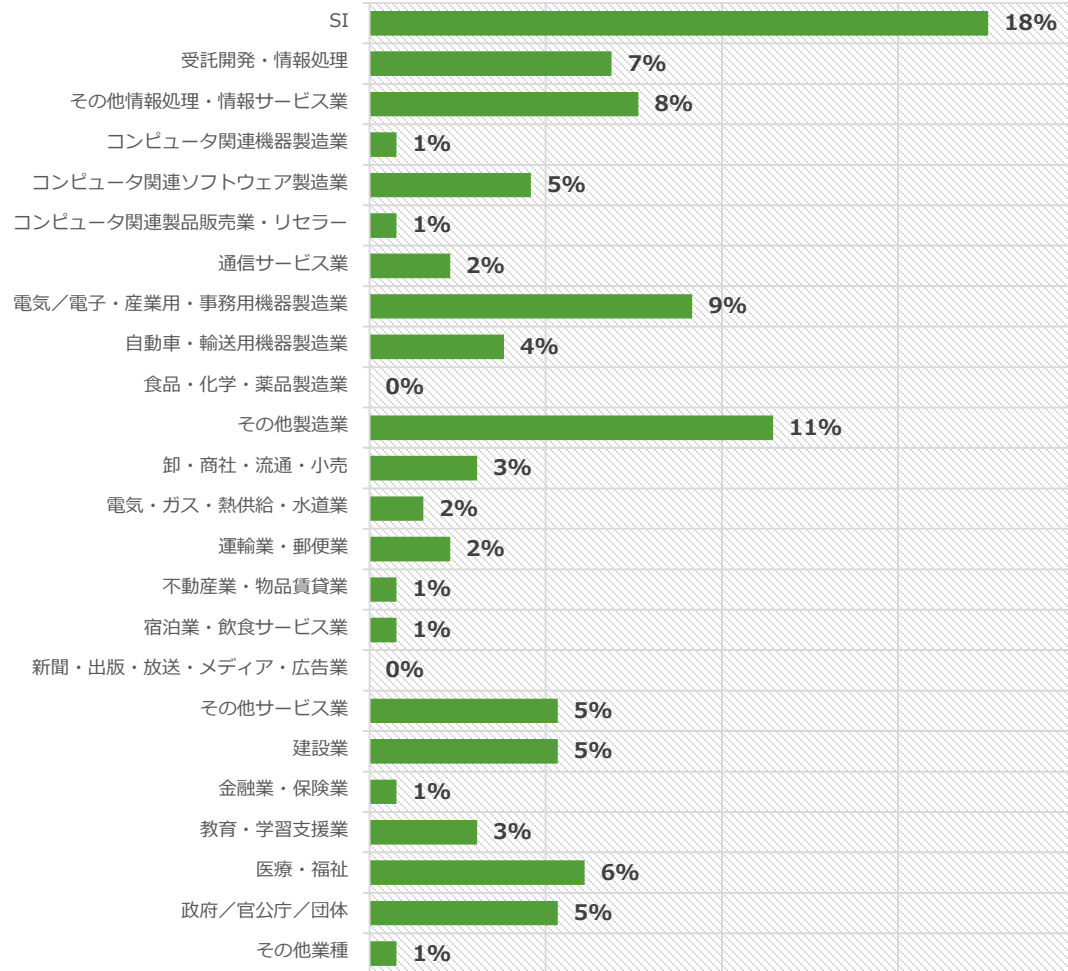


- メールセキュリティ対策の導入効果について、被害が減った、もしくはなくなったと回答したのは22%でした
- 対策後も変化はないと回答したのは23%でした

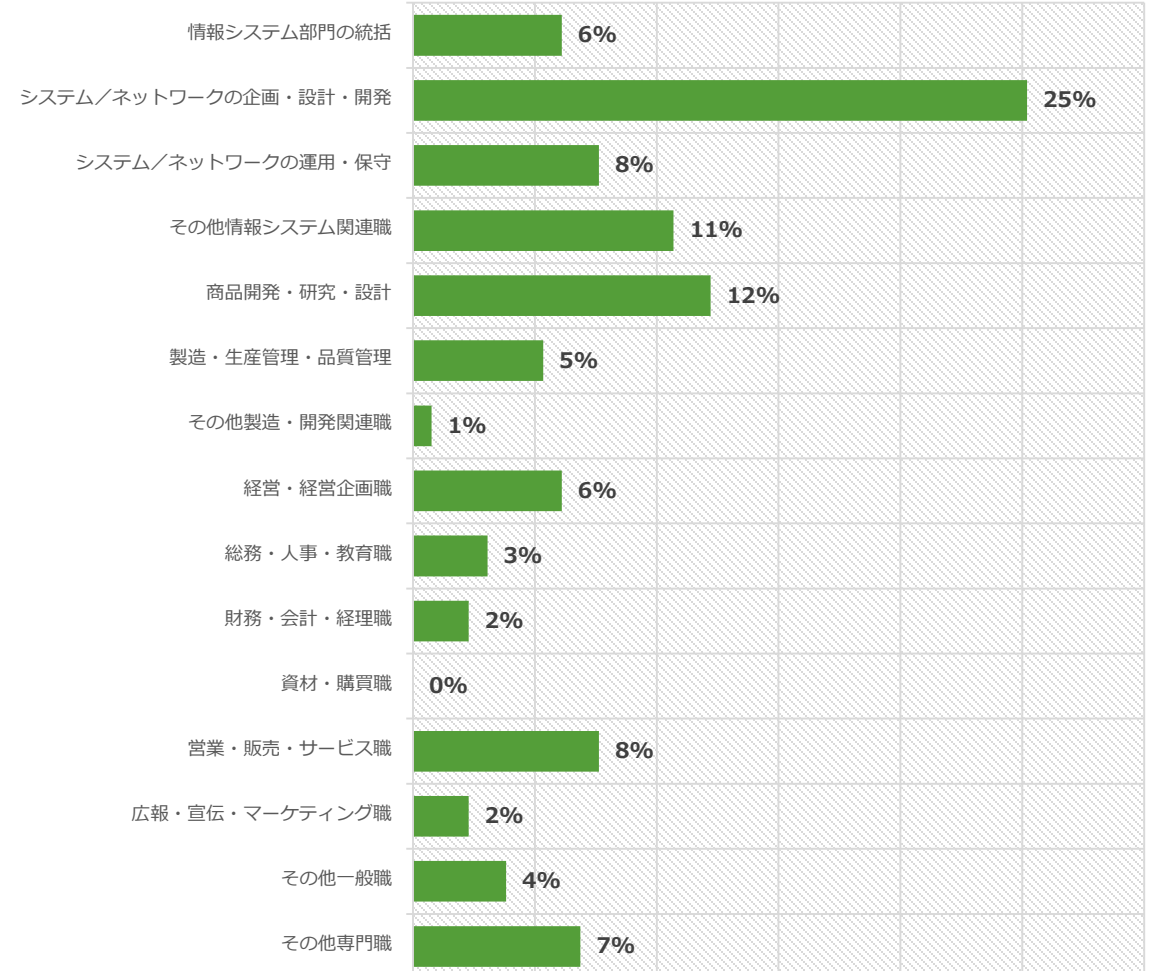
回答者属性

回答者属性 - 業種・職種

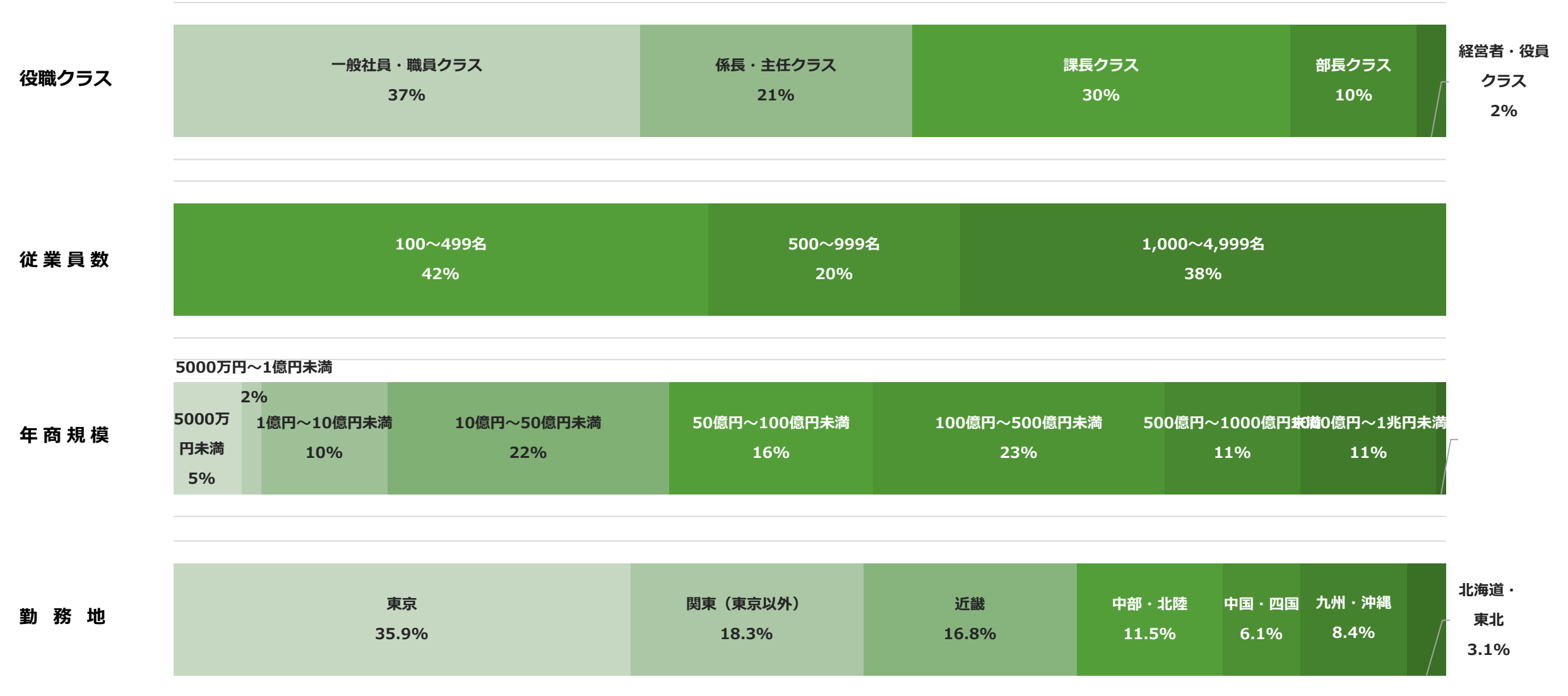
業種



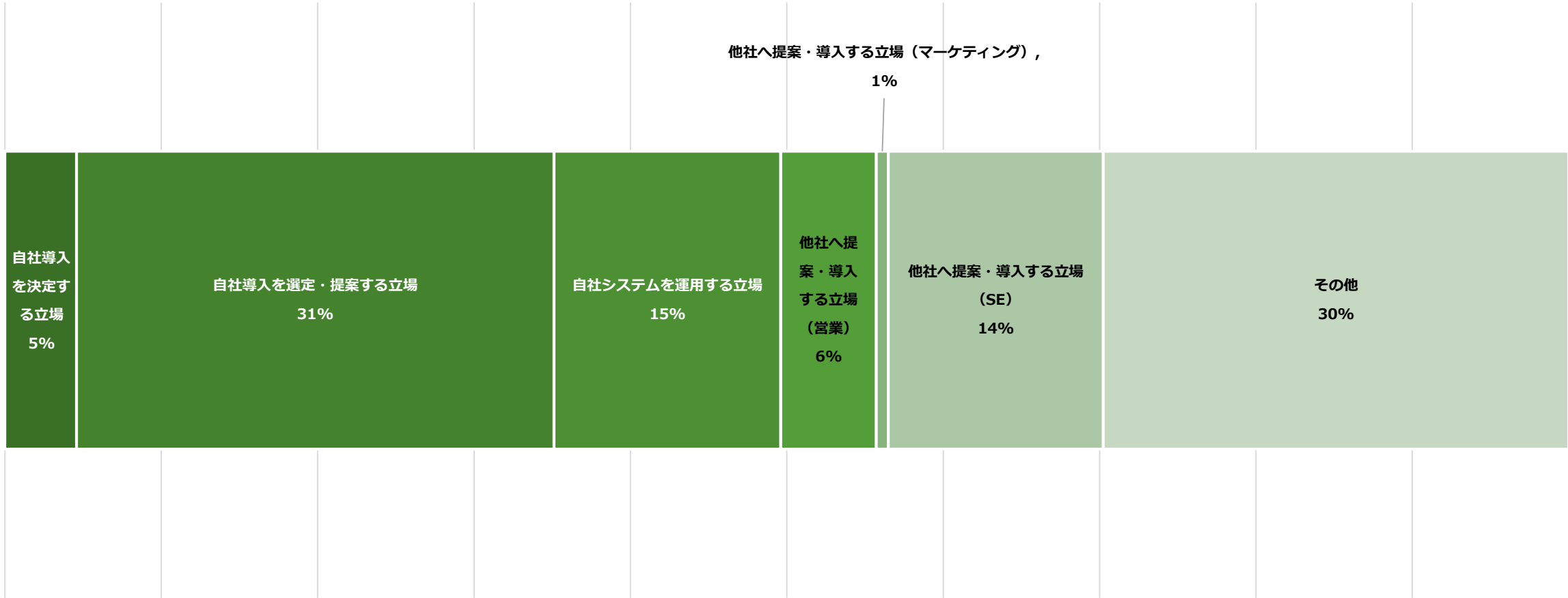
職務内容



回答者属性 - 役職クラス・従業員規模・年商規模・勤務地



回答者属性 - セキュリティ製品導入の立場



お問い合わせ

キヤノンマーケティングジャパン株式会社